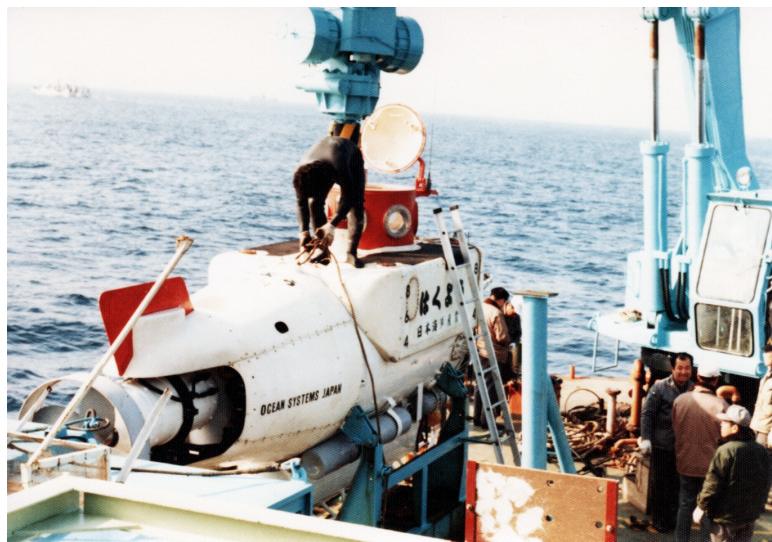


V型金錨の実機テスト

主催 東海区水産研究所
(現中央水産研究所)
漁具漁法部

日時 昭和53年3月3日
場所 神奈川県三崎市
城ヶ島沖1km



使用船舶機材

1. 海洋作業船 ねりうす 200t 乗員 25名
2. 潜水艇 はくよう 2t 潜水深度400m 乗員 2名
3. 潜水ビデオ機材、実験計測装置一式

実験

A. V型片爪金錨 VHS型 78kg B. 平爪型金錨 JIS型 75kg
両者を水深2倍、3倍、5倍の曳行角度で錨抵抗値を測定比較し、静止把駐力及び移動抵抗値を記録、ビデオ収録も同時に行った。

提供錨は重量を同程度、爪面積を同一にし、V型はフリューク角35°とした。平爪型は最も平均的形狀とされるJIS型ドラッグアンカーA型に準じ製作された。

最大把駐力(kg)の比較 水深:30m 底質:砂

区分 \ ワイヤー長	150mの時(kg)	90mの時(kg)	60mの時(kg)
JIS型	800	700	200
V型	1,900	2,800	2,500

※両錨共表中の把駐力を計測後走錨を開始した。

所見

平爪JIS型錨では外力に対し、走錨に至るまでの抵抗値が低く、曳行角度が大となるに従い把駐力が激減し、水深比2倍では僅か200kgから移動するのに対し、V型錨では同じ条件下で2,500kgまで静止したままで比率は実に12.5倍に達した。

潜水艇「はくよう」によるビデオ収録 金錨実機テストの様子



JIS型ストックアンカー 75kg



JIS型（把駐力）670kg



V型ストックアンカー VHS 78kg



V型（把駐力）1950kg